



2019年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社 Gunosy
代 表 者 名 代表取締役 竹 谷 祐 哉
最高経営責任者
(コード番号：6047 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 間 庭 裕 喜
最高財務責任者
(TEL. 03-6455-4560)

株式会社サニーサイドアップとの合弁会社（子会社）設立に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社サニーサイドアップ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：次原悦子、以下「SSU 社」）との間で、デジタルとリアル領域を横断する包括的なコミュニケーションサービスの提供を目的とした合弁会社（子会社）を設立する事を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 合弁会社（子会社）設立の背景と目的

(1) 事業内容

当社と SSU 社は、2019 年 10 月 15 日付にて合弁会社「株式会社 Grill」（読み：グリル）を設立し、同社において当社メディアプラットフォームと SSU 社の企画力及びコミュニケーションノウハウを活かし、リサーチ事業及び動画などをはじめとするコンテンツ制作事業を開始することに合意いたしました。

(2) 新たな事業開始及び合弁の理由

当社は「情報を世界中の人に最適に届ける」を企業理念に掲げ、情報キュレーションアプリ「グノシー」をはじめ、累計 4,900 万ダウンロードを超えるアプリ群の開発・運営を手がけています。蓄積された膨大なデータとアルゴリズムの力で「良質なコンテンツの評価」をすることで、「コンテンツとユーザーをマッチング」させ、受け手にとって最適な情報を提供することを得意とする、“デジタル・コミュニケーション領域におけるトップランナー”とも言えるイノベーションカンパニーです。

一方、SSU 社は、PR 的発想を生かした独自のマーケティング・コミュニケーションノウハウによって、30 年以上に渡り様々なムーブメントを生み出し続けてきました。“ヒト”の分野においては、PR のノウハウを用いて中田英寿など多くのスターアスリートを世に送り出すとともに、“モノ・コト”の分野においては、シドニー発オールデイダイニング「bills」を、PR と運営を通じてグローバルブ

ランドに成長させるなど、“ヒトやモノやコトの輝きを発掘し、世の中に伝える”というリアル・コミュニケーション領域において、先駆的な実績を数多く残してきました。

当社のデジタル・コミュニケーション領域におけるメディアプラットフォームを活かしたデータ分析・マーケティング力と、SSU社の企画力とコミュニケーションノウハウという両社の強みを掛け合わせることで、デジタルとリアル領域を横断する包括的なコミュニケーションサービスを提供できると考え、当社は、SSU社との共同出資により、リサーチ事業とコンテンツ制作事業を共同で行ってまいります。

合弁会社の設立により、当社とSSU社との相乗効果を最大限に活かしたサービスを提供する事が可能となり、両社の企業価値向上につながるものと考えております。

2. 合弁会社の概要

(1) 名 称	株式会社 Grill
(2) 所 在 地	東京都港区赤坂一丁目 12 番 32 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 岩館 大地
(4) 事 業 内 容	1. リサーチ事業 2. コンテンツ制作事業
(5) 資 本 金	25 百万円
(6) 設 立 年 月 日	2019 年 10 月 25 日 (予定)
(7) 決 算 期	3 月
(8) 純 資 産	50 百万円
(9) 総 資 産	50 百万円
(10) 出 資 比 率	株式会社 Gunosy : 65% 株式会社サニーサイドアップ : 35%

3. 合弁相手先の概要

(1) 名 称	株式会社サニーサイドアップ
(2) 所 在 地	東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 23 番 5 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 次原 悦子
(4) 事 業 内 容	PR 事業、プロモーション事業、スポーツマーケティング事業、 フードマーケティング事業ほか
(5) 資 本 金	5 億 3840 万 590 円 ※2019 年 6 月末現在
(6) 設 立 年 月 日	1985 年 7 月 1 日

4. 新たな事業のために特別に支出する予定額の合計額

本事業の開始に伴い、株式会社 Grill に対し、当社より 32.5 百万円の出資を行い、当該資金を運転資金に充当することを予定しております。

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2019 年 10 月 15 日
(2) 合弁契約締結日	2019 年 10 月 15 日
(3) 事業開始日	2019 年 11 月 1 日 (予定)

6. 今後の見通し

本件合弁会社設立による、当社グループの 2020 年 5 月期の連結業績に与える影響は軽微ではありますが、長期的に当社グループの業績向上に資するものと考えております。

なお、本件の 2020 年 5 月期の連結業績に与える影響は、2019 年 10 月 15 日に公表した「2020 年 5 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に反映しております。

以 上